

呼吸器内科

診療スタッフ

部長 福井朋也

医長 角谷拓哉

診療概要

【診療体制】

呼吸器専門医 2 名

呼吸器内視鏡専門医、がん薬物療法専門医、総合内科専門医

【診療内容】

呼吸器疾患全般

呼吸器腫瘍、間質性肺疾患、感染性肺疾患、閉塞性肺疾患、アレルギー性肺疾患、胸膜疾患など

診療実績

外来件数： 261（初診）、4,025（再診）

入院件数：504

気管支鏡検査件数：250

局所麻酔下胸腔鏡件数：33

その他の活動

地域における呼吸器領域の講演など（プライマリケア医、総合病院の勤務先、薬剤師など医療関係者に向けて、肺がん、喘息、COPD など呼吸器疾患関連の講演会を実施）

展望/抱負

呼吸器疾患は、細菌やウイルスによる肺炎、気管支喘息などのアレルギー性疾患、喫煙関連の慢性閉塞性肺疾患（COPD）など一般内科でも扱う疾患から、肺がんなどの腫瘍性疾患、間質性肺炎（肺線維症）などのびまん性肺疾患、結核などの感染性肺疾患、気胸・胸膜炎などの胸膜疾患など専門性の高い疾患まで非常に幅広く、その診断・治療方法も、多岐に渡ります。

当科では、豊富な症例数をもとに、一般内科診療を土台に、より専門的な診療を実践し、胸腔ドレーン管

理、気管支鏡検査や局所麻酔下胸腔鏡検査も実施しています。

肺がん薬物療法においては、細胞傷害性抗がん薬、分子標的治療、免疫チェックポイント阻害薬など、また、間質性肺炎に対する抗線維化薬、難治性喘息に対する生物学的製剤など呼吸器疾患に対する治療開発も進んでおり、リウマチ科、総合内科、免疫・アレルギーセンター、オンコロジーセンター、呼吸器外科、放射線診断科、放射線腫瘍科、病理診断部などと密に連携を取りながら、患者さんの病態を理解して適切な治療を提供します。